

## 平成28年第12回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

### 1 開催日時

平成28年7月7日（木）13時30分から14時04分まで

### 2 場所

福岡県立玄洋高等学校 会議室

### 3 出席委員

奥田竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、住吉徳彦、城戸秀明（教育長）

### 4 欠席委員

なし

### 5 出席事務局職員

理事 友野晃、総務部長 辰田一郎、教育企画部長 吉田法稔、  
教育振興部長 原田靖、総務課長 木原茂

### 6 傍聴者等数

6名

### 7 会議

13時30分、奥田委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

非公開の発議なく公開と決定された。

#### （1）その他

- ・平成28年6月定例県議会における教育委員会答弁要旨

城戸教育長から、6月定例県議会における教育委員会関連の代表質問、一般質問に対する以下の答弁要旨について説明があった。

（代表質問）公立学校における老朽化の現状等について、県内文化財の地震対策について、今後の全国学力・学習状況調査の過去問題の活用について、小中学校の正規教員率を高めるための取組みについて、部活動指導等による超過勤務について、アクション福岡の利用停止に係る今後の対策について、公立学校に

におけるICT教育のためのインフラ整備について、福岡県版のBYODガイドラインの作成について、義務教育学校を検討している市町村等の状況について等

(一般質問) がん教育の取組みについて、県立高校への電子黒板の配置について、政治参加推進の取組み状況と評価について、県立高校の体験入学の実施状況について、「チーム学校推進事業」における専門家の配置と成果について、特別支援学校の新設も含めた中長期的な進学ニーズへの対応について、教職員の定数決定方法について、日本遺産認定に向けた取組みについて、旧福岡県公会堂貴賓館の活性化について等

次いで、宮本委員から、義務教育学校設置によるメリットについて質問があった。

これに対して、城戸教育長から、小中学校が一体となることで、教員の連携意識が強まる等のメリットがある旨の説明があった。

次いで、奥田委員長から、ICT教育推進のための無線LAN環境の整備状況について、いわゆるWi-Fiが普及している中、整備が遅れている状況にあるため、前向きに検討してほしい旨の意見があった。

次いで、宮本委員から、がん教育の取組みについて、児童生徒自身だけでなく、例えば、親をがんで亡くした児童生徒への配慮等が必要である旨の意見があった。

奥田委員長が閉会を宣言し、14時04分閉会した。